

「東京高速道路（KK線）再生方針（案）」への パブリックコメントを提出しました。

銀座の外周を囲む東京高速道路（KK線）は、日本橋周辺の首都高速地下化に伴って自動車専用道路としての機能が低下することから、東京都や有識者からなる検討会において今後の有効活用の議論が進められていました。そして2020年11月、検討会から都に対して「東京高速道路（KK線）再生方針（案）～Tokyo

Sky Corridorの実現に向けて～」が提出されました。これを受けてまとめられたKK線の再生・活用の目標、目指すべき将来像、整備・誘導方針および今後の進め方を盛り込んだ都の「東京高速道路（KK線）再生方針（案）」に対して、銀座街づくり会議は3月15日にパブリックコメントを提出しました。

2月に発行した「銀座デザインルール」第3版では、街並みのデザインに加えて、交通や文化、銀座らしい商いといった銀座地区の街づくりの総合的なデザインを示しています。この内容に沿ってKK線に対する要望および提案をまとめ、東京都に提出しました。具体的な内容は以下の通りです。

■ 東京都の再生方針に対して、銀座も概ね賛同する一方で、街の機能を補完する施設として求められることもあります。特にこれからのKK線のありようとして最も期待されるべき点は、地理的要因や街の性質の違いなどによって分断されていたものごとを繋ぎ、それらの関係性を再構築することと考えています。物理的には、環境負荷や歴史ある建造物の価値を考慮し、既存施設を生かしながらKK線およびその下部構造物となるべく周囲と街に開かれることです。そして、KK線（屋上）部分に留めず、周囲のグランドレベルおよび構造物を含めて立体的な公共利用が検討されること、さらに、銀座の街の構造、街づくりの方針と整合性を持った適切なアクセスを配置し、地区を超えた回遊性や新しい関係性が創出されることを要望しました。

これらの要望に加え、銀座の考えるKK線の望ましい姿として以下を提案しました。

▶ 提案① 銀座らしい街並みをつくる

- ・ 歴史の積層を感じられる、既存を生かした施設。
- ・ 次世代モビリティは技術もデザインも最先端に。
- ・ 人のスケールを考えた街並み形成への協力。

▶ 提案② 通りと交通をリデザインする

- ・ 新しい交通システムを意識した空間構成とする。
- ・ 銀座の自転車問題解決への貢献を目指す。
- ・ グランドレベルや周辺建物・施設を意識した立体的な空間形成。

▶ 提案③ 銀座らしい「なりわい」を発展させる

- ・ 銀座の街を支える商業がより活発になる計画。
- ・ 銀座と周辺地区の回遊性を促す公共空間の創出。

▶ 提案④ 文化で支える、文化を育む

- ・ 文化と共創する空間であること。
- ・ 創造と発信の循環を再構築する。
- ・ グリーンインフラとしての機能を担保する。

▶ 提案⑤ 「世界から信頼される銀座」

- ・ 多様な人々との異文化交流を促す場の創造。
- ・ 施設へのアクセスや施設内も、多様な視点から考えられたユニバーサルなデザインであること。
- ・ 快適で開かれていて、人々の行動を過度に制限することのない居心地の良い環境整備。

▶ 提案⑥ 協議型街づくりの基盤を強化する

- ・ 銀座の街との協議型で進めることを基本とし、銀座も主体的に関与させていただきたい。

「東京高速道路（KK線）再生方針（案）」に対する銀座からの要望は、銀座街づくり会議WEBサイトからご覧いただけます。
www.ginza-machidukuri.jp